

2025 年後期



ABOUT US 2025

Once a product is shipped, even one second ahead is the future. Our PL initiatives support businesses that are committed to ensuring the future safety and security of their products.

製品の出荷後は 1 秒先も未来です。
私たちの推進する PL 対策は、製品
の未来へ安全安心の取り組みを進め
る事業者を支援しています。



一般社団法人 **APL-Japan**

<https://apl.or.jp>



PL 対策とは何か

未来の安全安心がすなわち **Product Liability**

「人の生み出したものは全て Product」とし、廃棄されるまでその責任は生産・販売した事業者の責務です。日本では「消費者基本法第5条」を順守するために、生産もしくは輸入販売した事業者が消費者安全に取り組むことが PL 対策です。

伝える責任と知る権利

広告から使い方、内容、成分など、作る人は例外なくそれらの正しい情報を商品の本体に表示することが法律で決められています。

そこに書ききれないことも、今は商品の見やすい場所に QR コードで動画なども利用して使用者の利便性を考えて積極的に伝えます。特にリコールなどもその QR コードで伝えることができるようになりました。「消費者の知る権利」を重視した商品に「SCODT すこっと」が利用開始されています。



PL 課題を解決する 未来の安全安心サービス

事業の規模や業種に関係なく、商品を作ったり仕入れて販売する際に法律で決められた表示や広告、特に使い方を間違えると火災や食中毒の原因になります。さらにラベル貼り間違えでも多くの回収交換が発生しています。

APLではこの先 10 年、20 年という長いライフサイクルの中で、皆様の負担を軽減し持続可能な取り組みを支援するために主に 3 つのサービスを提供しています。

scodt[®]
すこどっと

安全点検アプリ
scodt すこどっと


GS1-2D
GET IT ON
Google Play
Download on the
App Store

R7 年度 IT 導入
支援補助金対象
IT ツール

取説

取扱説明書
本体表示の改善



取説の評価を検証プログラムで確認。
改善点なども具体的に
知ることがができます。

検定

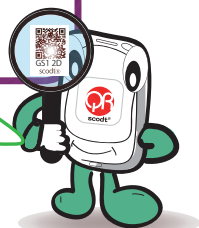
スマート社会での
新たな体制整備



PL 検定を実施。
継続的な社員研修に
利用できます。

モバイル用の取説閲覧アプリで、
リコールテストも直ちにできます。

安全点検
アプリ
すこどっと



安全点検アプリ scodt すこどっとの説明

無料アプリは「安全点検アプリ」で検索してください。流通用の特殊な QR も読める QR アプリです

商品本体に表示されたたった一つの QR コードが様々な場面で活用できます。詳しくは右の動画で基本的な機能を確認ください。

このシステムの最大の特徴は

- ① 個人情報不要
- ② 常に最新の情報を配信
- ③ 寿命やリコール通知も簡単
- ④ ロット単位の専用サイトの自動生成
- ⑤ 何よりも伝える責任の達成



YouTube JP



<https://scodt.jp>



GS1QR
scodt



管理システムの説明

PL 法の時効 10 年は今後 30 年になると思われます。

このシステムはそれらを想定し、皆様がロット単位の安全に関わるトリセツや検査証明書、試験データ、販売数や仕向地、実際の利用者の場所や時間などを長期間記録することを目的として設計されています。

国内では唯一の B2C トレーサビリティシステムとして 10 年間運用しており、リコールや様々な実績があります。

機能の詳細は



<https://scodt.com/>



契約されると登録先に ID/PW が郵送されます。

自社名、担当者、連絡先、商品情報を登録してください。複雑な操作は必要なく zoom 共有画面での導入指導でどなたでもすぐに使えています。

Safety Check On-Demand Technology



IT導入補助金2025

中小企業・小規模事業者向け

令和7年度のIT導入支援補助金を利用できるITツールです。

説明会にご参加ください。
zoom・会場対面参加

補助金説明 | 機能説明

ITツール申込手続き

補助金申請手続き

補助金交付決定

利用開始

報告は毎年
5年継続

正会員
として
サポート

報告終了

年更新

APL 正会員

当団体の推進する「製品による被害未然防止・再発防止」には必須のツールです。

品質異常により消費者市場での回収が24時間以内に実施が可能です。

食中毒などや欠陥による事故になる可能性のある製品、特に長期使用で経年劣化の事故の可能性のある製品などに利用されています。

ただちにリコールができること、これが一番重要です。

安全点検
アプリ
すこどっと



取扱説明書と本体表示について

PL 対策といえばこのことが一番問題になります。

説明責任について

製品の安全も、買う側の期待する機能も全ては作る側・売る側が消費者に対しての法律的な責任を負います。

使い方を間違えるいわゆる誤使用による事故なども売られなければ起きないことで、これも今では事業者の責任と判断されています。

これこそが消費者の知る権利と事業者の伝える責任！

私たちはそのことに着目し、2005 年から取扱説明書を通して PL 法や様々な法律、技術基準などに即したモバイル最適化を図る取扱説明書の普及、モバイルを通して寿命到来やリコール・廃棄方法なども伝える本体表示の DX を推進しており、事業者の「伝える責任」を達成するための支援をしています。

取説簡易検証プログラム

https://apl.or.jp/?page_id=4015



この簡易検証プログラムは簡単で便利！



取扱説明書ガイドライン 2022

日本で唯一消費者基本法と PL 法、IEC/IEEE に準拠したガイドラインで、購入者にはテンプレートを利用した制作の講習を開催しています。

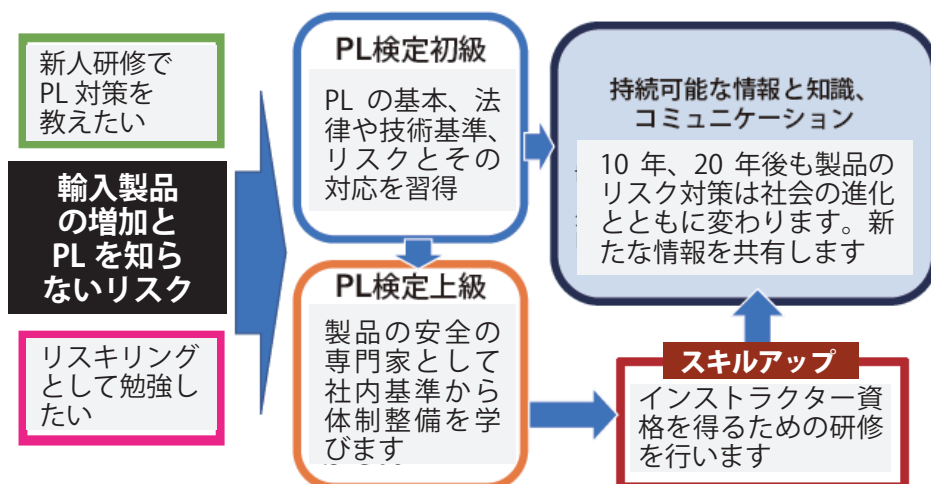


PL 検定で PL アドバイザーに！

PL 検定を利用し最新の体制整備をすすめましょう
アフターサービスの効率化と経営リスク低減を！

最新 PL 対策専門家育成プログラムのご案内

製品に生じる様々なトラブルを客観的に検証し、出荷後の市場で被害を未然防止などを行うための対策と知識を習得していただくために PL 検定を 2010 年から実施しています。取扱説明書や本体表示などは社会規定などを包括して客観的に評価することができ、超スマート社会での安全安心のリーダーとして多くの方が活躍されています。



PL 検定に合格すると PL アドバイザーとして当団体より資格を認定します。

- PL アドバイザー初級
- PL アドバイザー上級
- PL アドバイザーインストラクター

詳細は下記をご参照ください。



https://apl.or.jp/?page_id=2502

これまでの経験が役に立ってます



この先もずっと持続可能な取り組みを！

社内体制の見直しについて

直ちにリコールができるためにはリコールテストの実績評価が重要です。

下のチェックボックスを点検してみてください

- ☐ 消費者の「知る権利」を最優先に製品の企画に安全対策を組み入れる
- ☐ 設計時に技術的根拠のあるサイレントチェンジを含む製品安全対策を行う
- ☐ 製品の本質安全設計としてフェールセーフを組み込む
- ☐ 出荷後の品質保証規定などを最新の市場構造を鑑み常に改善する
- ☐ グローバル視点での新技術での製品トレーサビリティを行う
- ☐ 出荷後の事故などの未然防止・再発防止のできるシステムを構築する

APL では品質管理における重要な項目を上記チェックポイントとしてまとめています。

これらを達成することで市場における企業のブランド力を高め、グローバル市場、世界のどこでトラブルが起こっても即座に対応することが可能になります。

また、最新の体制整備の取り組み支援として右の「最新！ PL 対策解説書」を出版しています。

これは PL アドバイザー上級のテキストでもあり、経産省、米国、EU などでの改訂が進んでいる法律などに対応できる社内体制を進めてください。

経産省の製品安全自己宣言制度に詳細なチェックリストなどが公表されていますのでご確認ください。



書籍はこちらから

https://apl.or.jp/?page_id=2396



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



今問われているのはトレーサビリティ！

出荷後の商品を追跡する、これがトレーサビリティの基本です。

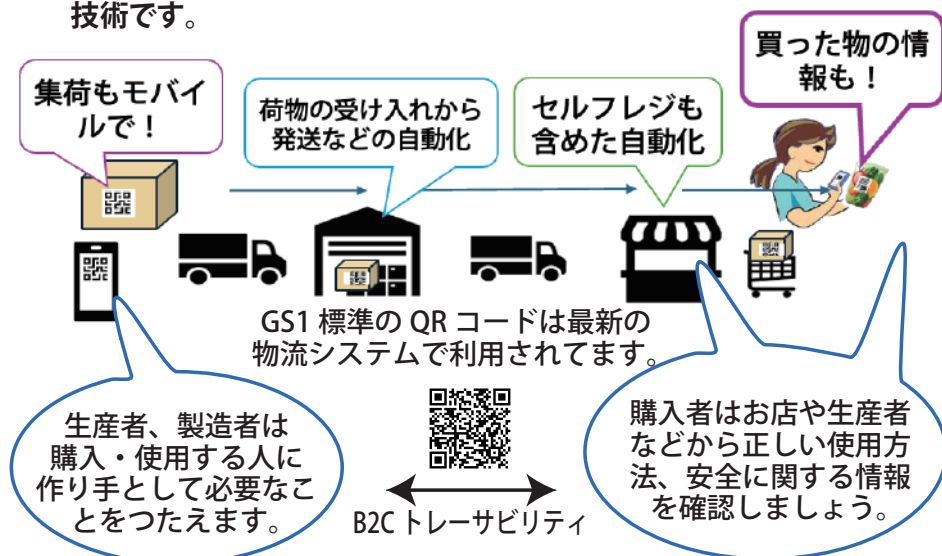
食品原材料に起因する直近の事例 1

15 年前に PL 対策を指導していたサブリ系の販売会社経営者より、「紅麴を原料にしたサブリを数千個製造メーカーから仕入れ商社に販売した。先日突然その商社から米国に販売したが原因物質の安全性証明ができないので全品回収になり、その総額数千万円の請求が来た。金融機関はまだ先が読めないので融資できないとのこと」、製造元は倒産していた。

他人事ですか？

流通小売側に起きていることを知しましょう。

物の移動履歴をリアルタイムに自動認識と言う技術で追跡します。
これが今世界で動いている「デジタルトレーサビリティ」という技術です。



詳細は下記 PDF の p26 以降をご覧ください。

https://scodt.com/wp/wp-content/uploads/scodt_trace2024_n3-2.pdf

トレーサビリティ必須の時代です。

当団体では多くのものづくり現場の皆様と取扱説明書や広告などの違反防止、そして製品事故の相談や対応を行ってきました。

農業、林業などでの作業機械の事故が増えたことから 2018 年より本格的に食品分野を調査する中で、米国の厳しい法規制が始まる情報を得て、その対策について下記の条件を満たす必要があることを確認しています。

- 米国で販売される食品の一部原材料（但し 2025 年 6 月から大手小売では全食品対象としている）を対象に食品トレーサビリティ法が 2026 年から施行、**リコール対応などは 24 時間以内に行う**厳しい規制が開始されます。
- 規制当局の FDA では**抜き打ちで予告なく生産保管施設の立入検査をおこなう**ことが報じられました。

必要な要件

1. 24 時間以内のリコールと原因究明のための原材料の特定と下記の情報の提出
2. リコールテストの結果やその改善の状況
3. 生産加工、保管事業者の特定
4. 原材料や加工時の衛生と安全管理の情報
5. テロも含めた悪意の場合の対応方法
6. 出荷量、流通経路のトレーサビリティ

2025 年 7 月までの調査では、市場リコールやテスト、24 時間以内の情報提出のできるシステムは当団体の「安全点検アプリ scodt すこどっと」だけが可能です。



農家から食卓までの安全安心

食品原材料、お米、野菜、果物、乳製品、魚介類など、全てにおいて原産地は地域ではなくもっと正確な場所の特定できること。

あとは生産者が主導して需要者に情報を伝えることです。
始まります、安全点検アプリの得意分野です。

ホームページが無くても食べ方や無農薬の良さ、証明書をもらえます！

ご協力

新潟県三条市下田の
ニールストリートの
桐生さま



GS1QR
scodt[®]

下田自然栽培米
「六花」玄米2kg
(有) ニールストリート



いかに簡単に農家さんに負担なく
このシステム参加していただけるのか！！

！コストを低くする
！簡単スマホのように使える
！作業の負担をかけさせない
！リスクを限りなく低減することなど

2025年8月26日東北工業大学
で開催される APL シンポジウム
はそのスタートアップです。



<https://apl.or.jp/?p=6555>



Safety

成分・アレルギー情報
レシピ・自社サイト etc.



未来の安全安心

～変えようニッポン、東北の農家から～

安全快適な生活環境と仕事場、植物工場・加工・保管・物流と情報ハブが一体になった施設、そして気温の下がった夜は小型作業ロボットが生産育成管理や収穫などを行っている、私たちが描く近未来の農業です。

いかがでしょうか。大型化した機械から一転、ドローンや小型の自動機械が 24 時間 365 日稼働する日本式のスマート農業の提案です。一緒に進めませんか。



<https://apl.or.jp>

一般社団法人 APL-Japan

【本部】

〒173-0013 東京都板橋区氷川町 47-4

アビタシオン K1F

【事務局】

〒982-0823 宮城県仙台市太白区

恵和町 35-28

TEL : 050-6865-5180

FAX : 022-247-8042

Email : office@apl.or.jp

